

【タイトル】 もう一度、夢を持つ勇氣

—仲間と挑戦を続けると、人生はこんなに面白くなる—

【概要】

本書は 2013 年に設立された社会人ラクロスチーム「NeO」の物語を通じて、現代社会で忘れられつつある「**大人が夢を持つこと**」の価値を伝える一冊です。

私たちは「ラクロスから世界へ」というビジョンを掲げ、仕事や家庭を持ちながらもチームで挑戦を続けてきました。その過程で得られたのは、**大人同士が育む“本気”の絆**、そして**夢を共有する仲間とのかけがえない時間**。

日々忙しさに追われて「やりたいことを諦めている」大人にとって「**もう一度夢を持ち追い始める勇氣**」「**社会人になっても、好きなことで世界を広げられる**」というメッセージとノウハウを提供します。

【想定する読者ターゲット】

- ・仕事や家庭との両立の中で「夢を諦めるのが当たり前」になっている人
- ・「あの頃の情熱」をもう一度呼び覚ましたいと感じている人
- ・新しいことに挑戦してみたいが、一歩踏み出せない人

【構成案】

1 章 なぜ大人になると夢を持ってなくなってしまうのか

「やりたい」と「やらなければいけない」の板挟み 日々忙しさに追われて、やりたいことを諦めてしまう怖さ
夢を思い出すことからすべてが始まる 社会人だからこそ持てる夢と乗り越えられる壁がある
制約があるからこそ、目標が明確になる

2 章 「世界への挑戦」からすべてが始まる

大人の夢には困難がつきもの 小さな夢を言葉にしてみると、仲間が集まり始める
社会人ラクロスチームを立ち上げた理由 大人の夢は言葉にして発信することで“引き寄せ”が始まる

3 章 仲間との絆が不可能を可能にする

チームビルディングの理想と現実リアル 一人では乗り越えられない壁も、仲間となら克服できる
お互いを尊重し合うチームワーク ビジネスや家庭でも活かせるコミュニケーション法
仲間と目的を共有すると、想像以上の成果が得られる

4章 社会人だからこそ好きなことで世界を広げられる

大人だからこそ、夢は大きく広がる 限られた時間の中でも本気で打ち込む方法
夢が広がる瞬間を見逃さない 社会人からでも「世界」に手は届く 好きなことが世界を開く

5章 夢を持つことで人生が豊かになる

夢を見続けることで人生の可能性は広がる 好きを一生懸命追うと人生は想像以上に豊かになる
小さな一歩を踏み出すためのステップリスト 仲間を巻き込むコツ
行動を続けることで、何歳からでも人生を変えられる 「あの頃の情熱」をもう一度呼び覚まそう

【サンプル原稿】

第1章：NeOの誕生 ～「ラクロスから世界へ」の始まり～

1. ラクロス強豪国との壁

ラクロスの世界において、アメリカ、カナダ、オーストラリア、イングランドは圧倒的な強豪国だ。これらの国々では、ラクロスは幼少期から触れるスポーツであり、選手たちは小学生の頃からスティックを握り、プレーの基礎を学んでいる。彼らは「ラクロスが文化として根付いた環境」の中で成長し、長い競技歴と高い戦術理解度を持つ選手が次々と生まれている。

一方、日本ではラクロスは大学から始める人が大半を占める。競技歴 4 年未満の選手がチームの中心にならざるを得ない状況で、世界のトップレベルと戦うのは容易ではない。技術も経験も圧倒的に足りない。

「このままでは、日本が世界の強豪国に勝つ日は永遠に来ないのではないか」

そう考えたとき、私たちは「環境を変えなければならない」と強く思った。

2. 日本国内の課題

この問題は、国内のラクロス事情を見ても明らかだった。

日本では、大学卒業後も競技を続ける選手は少数派であり、社会人クラブチームの数も限られていた。全日本選手権では、社会人クラブチームと大学生優勝チームが戦うが、結果はいつも同じだった。

勝つのは、社会人クラブチームではなく、大学生チーム。

社会人チームの方が、競技歴が長く、個々のテクニックは高い。しかし、週 5 日練習し、泥臭く走り続ける大学生チームには、体力面や組織力で劣ってしまう。つまり、日本のラクロスは「短期間で結果を出すこと」に最適化されており、長期的な競技力向上にはつなげていなかったのだ。

世界の強豪国と戦うためには、ラクロスを「大学 4 年間のスポーツ」にとどめず、生涯スポーツとして続けられる仕組みを作ることが不可欠だった。

3. 「NeO」という新たな挑戦

「日本が世界の強豪国に勝つためには、新しいチームが必要だ」

そう確信した私は、同じ思いを持った仲間と 2013 年に「NeO」という社会人ラクロスチームを立ち上げる

ことを決意した。このチームは、単なるクラブチームではなく、「日本ラクロスの未来を変えるチーム」であるべきだった。

世界と戦える戦術を生み出し続けること

小さいころからラクロスに触れる環境をつくること

大学卒業後も継続的に競技を続けられる環境をつくること

これまでの日本ラクロスの在り方を変え、世界と本気で戦うための「新しい価値を持つクラブチーム」を作る。

NeO は、そんな想いを持った仲間たちとともに、動き出した。

[以上となります。よろしくお願いいたします]